

より難しい整備を任せられる立場になったので、
技術を磨いて行く為に、学び続けます！



入社 2018
本店 TS
溝口 大騎 さん



毎月1回、社内で「輝くひと」にフォーカスし、社長との対談を通して、そのひとの魅力に迫る「きらびと」第十一号は、今年一月に開催された「日産テクニカルスタッフ1級実技試験」に見事合格され、中堅スタッフとして、益々活躍が期待されるGTR認定整備士の本店溝口大騎さんにお話を伺いました。

【宮崎社長】

テクニカルスタッフ1級試験の合格おめでとうございます！日産は技術に拘っている会社なので、現場スタッフの技術向上と次世代への継承が重要です。その為の道しるべの一つが、この資格取得だと思うのですが、今回受験にあたり苦労した事など教えてください。

【溝口さん】

試験は学科と実技があるのですが、学科に関しては、幅広い知識の習得が必要なので、帰宅後など、ひたすら覚えるのが大変でした。実技は今回受験した5人で協力し想定問題を出し合ったり、業務後に、とにかく反復練習を行っていました。苦労は多かったですが、先輩の木下さんからのサポートが心強かったです！

【宮崎社長】
今回1級を受験する中で、気づいたことや得られたことなどありましたか？

【溝口さん】

はい。日常業務ではあまり見られない不具合なども出題されるので、改めて車について一から深く学べたことと、最新の制御技術についての知識をアップデート出来たことは大きな収穫でした。

【宮崎社長】

努力した分、達成感も大きかったのではないですか？また、今後にとの様に活かしていきますか？

【溝口さん】

正直に言えば練習の際、規定時間内に実技を終えれず「自分には無理だな」と思っていました。が、これまでの経験プラス、木下さんからの教えが、最後の最後で実を結んだと、達成感より感謝の気持ちが大きいです。

【溝口さん】

より難しい整備を任せられる立場になったと思うので、「資格だけの人」と言われない様に、日常業務の中で技術を磨いて行く為、学び続けて行こうと思います。

編集後記

今回、当社で5名が受験し唯一合格された溝口さん。クルマが好きで知識豊富な溝口さんでも「技術を磨いて行く為、学び続けて行こうと思う...」という言葉が印象的であり、「日産マン」としてのプライドを感じました

閲覧ありがとうございます